
あの子はNEET使い

あきのあかね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの子はNEET使い

【Nコード】

N4491BA

【作者名】

あきのあかね

【あらすじ】

高校を中退して2年の月日が経ったある日の事、俺中城靖也は今日も何もしないで暮らしていた。そんな時、突如やって来た自称NEET使いの謎の女に「お前は私のNEETになれ！」と言われる。その言葉の意味とは？

NEETは来客に弱い

NEETとは職を持たず、働く意志も無い。それらしい理由をつけて、家族を騙してでも働く事から逃げ続ける。

そのくせ、部屋に閉じこもって電気を使い、便所に行けば水を使い、空気を吸って二酸化炭素を排出し、働かない癖に口だけは一人前。このため、「働かざる者食うべからず」を美徳としている世間では人間のクズとして扱われる。

某情報サイトより抜粋。

NEET、そう。

それは、選ばれなくてもなれる勇者。

世間からは蔑むように見られ、同情され、またある時は羨望されるべく存在。

まるで物置のような、四畳半の狭い部屋に俺はいた。

俺、なかしろ中城 せいや靖也はNEETであった。

……NEETであるがゆえに、孤高であった……………。

高校を中退してから2年、社会という闇と戦う元・我が同胞は今年で18歳になるらしい。

元気にしてるだろうか？

何もかもが面倒になった俺は光の速さで高校を中退し、毎日インターネットと漫画を読み漁る。

両親は呆れて何も言わず、こうして親にも見捨てられた俺は、雲を見て時間の流れを知るといふ特技を会得した。

「もう昼か……………」

そして起きる時間は決まって昼過ぎ。

「今日もお気に入りのお宝画像でも探すとするか……」
毎日のライフワーク。

俺の仕事はコレ、だから本当は俺はNEETなんかじゃないのかも
しれない。

ピンポーン

チャイムが鳴った。

……誰も出る様子がないな。

1階で物音がしないという事は家族はいないのだろうか？
今日は何曜日だ？

「水曜日だよ」

一体何回目の水曜日かなんてのは知ったこっちゃないが、親父は出
勤、母ちゃんはパート、妹は……学校じゃん。

でも気にしない、百戦錬磨の俺は居留守も使ってしまう。

蛻もぬけの殻だと落胆して帰っていくがいい、悪徳セールスマン。

「ふっ……負けを知りたい……」

ネットで良く見る用語をとりあえず眩き、余韻に浸る。

ピンポーン

「何……だと？」

かなり相手も頑固だな。

そこにいと疑われない、その揺ぎ無き信念……立派だ。

「だが、屈しない！ テロには屈しないー！」

ピンポーン

「……」

ピンポピンポピンポーン

連打!?

しかも、そのチャイムは秒間16連打を記録しそうな勢いだ。
気になった俺は、恐る恐る玄関へと近づいた。

ガチャガチャ

ドアノブを捻っている。

空き巣か？

高鳴る心臓を抑えて扉の向こうの景色を覗こうとして
バキイ

という音と共に扉ごと後ろに吹き飛ばされた。

「うわっ!？」

扉は無理矢理抉じ開けられていて、修復は無理そうだ。
その扉を壊した相手だけでも確認しなければいけない。
それが自宅警備を任される俺の宿命だった。

「お前は中城靖也だな？ 私は久遠くんと音子おとね NEET使いだ」

とんでもなく可愛い女の子が、扉をぶっ壊して、虫を見るような目
でボクを見ってきます。

「お前は私のNEETになれ!」

俺の知らない間に随分と社会は変わったなあ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4491ba/>

あの子はNEET使い

2012年1月12日01時58分発行